

教員情報

学科	バイオテクノロジー科
氏名	大江 宏明
教育/学術/実務卓越の別	学術卓越型教員
専任/兼任の別(役職)	専任講師/バイオテクノロジー科科长 兼 環境テクノロジー科科长 兼 バイオ環境系カリキュラムリーダー
主な担当科目	社会情報学1,2、ライフテクノロジー概論1,2、基礎化学1,2、応用バイオ化学実験2、食品加工と安全、分離精製技術1,2、バイオ総合実験1,2
専門分野	食品化学、栄養化学、微生物学、発酵工学、化学工学
学歴	帯広畜産大学農産化学科卒、同大学大学院畜産学研究科農産化学専攻修了
学位	農学修士
免許・資格等	—
実務歴(年数)	14年
教員歴(年数)	19年
教育・学術・実務上の実績	<p>昭和54年～昭和60年 テルモ株式会社技術開発部研究員 各種医療用具、人工臓器、血液処理装置等の開発研究</p> <p>昭和60年～平成6年 株式会社新素材総合研究所主任研究員 微生物関連技術研究(理化学研究所化学工学研究室出向)、ろ過システムの開発、医療用具の開発</p> <p>平成6年～平成20年 学校法人小山学園、専門学校東京テクニカルカレッジ・バイオテクノロジー科講師(平成15年～平成20年バイオテクノロジー科科长、バイオテクノロジー科カリキュラムリーダー)</p> <p>平成20年～21年 学校法人小山学園事業開発本部 部長</p> <p>平成22年～現在 学校法人小山学園専門学校東京テクニカルカレッジ・バイオテクノロジー科講師、同科科长</p> <p>平成24年～現在 学校法人小山学園専門学校東京テクニカルカレッジ・環境テクノロジー科科长兼務、同カリキュラムリーダー兼務</p> <p>業績:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文 溶解度分別法を用いた自己血漿浄化システムの開発(人工臓器, 140(1), 472-475 (1985)) ・出願特許 血漿浄化システム、各種ろ過装置、その他36件 ・外部教育研究、指導活動等 <p>2004年「バイオマスプラスチックの研究開発や製造を担う技術人材育成用カリキュラム案」検討(経済産業省)</p> <p>2010年環境人材育成コンソーシアム準備会参加(環境省EcoLeaD)</p> <p>2010-2011親子で本気の理科実験講師(理科教育研究フォーラム;子ども夢基金補助事業)</p> <p>2011年第11回高校生ものづくりコンテスト化学分析部門全国大会審査官(全国工業高等学校長協会主催)</p>
加入団体等	NPO法人日本バイオ技術教育学会(理事)
専門学校教員資格	設置基準第18条4号

学科	バイオテクノロジー科
氏名	大藤 道衛
教育/学術/実務卓越の別	学術卓越型教員
専任/兼任の別(役職)	専任講師
主な担当科目	遺伝子工学技術、生化学1(タンパク質)、生化学2(糖、核酸、脂質、ビタミン)、応用バイオ実習1(遺伝子工学実習)、応用バイオ実習2(PCR実習)、バイオ総合実習1、バイオ総合実習2
専門分野	遺伝子解析技術、電気泳動、分子生物学、分子腫瘍医学、遺伝子リテラシー教育
学歴	千葉大学園芸学部農芸化学科卒業(昭和55年3月)、群馬大学医学部専攻生修了(昭和62年3月)、東京医科歯科大学医学部専攻生修了(平成7年3月)
学位	博士(医学) 東京医科歯科大学第1280号(平成7年6月)
免許・資格等	日本バイオ技術教育学会 バイオ技術上級認定(平成8年 3月)、日本バイオ技術教育学会 バイオ技術中級認定(平成5年.3月)、文部省認定実用英語技能検定準1級合格(昭和63年12月)
実務歴(年数)	20年
教員歴(年数)	25年
教育・学術・実務上の実績	<p>職歴: 昭和55年～昭和62年 ダイナボットRI研究所(現:アボットジャパン)研究開発部研究員 癌の免疫化学的診断技術研究開発、感染症のDNA診断技術の研究開発 昭和63年～現在 学校法人小山学園、専門学校東京テクニカルカレッジ・バイオテクノロジー科 講師(平成10年～12年同科科长) 平成8年 東京医科歯科大学兼任研究員(癌の分子生物学研究) 平成16年～平成18年 東京農工大学農学部生物科学科非常勤講師 平成16年～現在 工学院大学工学部非常勤講師 平成18年 理化学研究所ゲノム科学総合研究センター客員研究員 平成18年～現在 東京農工大学大学院農学府非常勤講師 平成21年～現在 公立前橋工科大学工学部非常勤講師</p> <p>アウトリーチ活動(企業顧問、審査員、遺伝子リテラシー教育普及活動等): 平成12年～現在 バイオ企業学術顧問 平成13年～現在 教育目的遺伝子組換え実験支援者グループ(代表:鎌田博筑波大学教授)研究メンバー、遺伝子リテラシー教育の普及活動の実施 理科教員向け教育目的遺伝子組換え実験教育研修会講師(筑波大学23回、東京農工大学13回、東京学芸大学10回、東洋大学10回、福島大学1回)、文部科学省主催高校教員向け研修会講師3回、日本植物学会特別賞(共同受賞)第75回大会日本植物学会(2011) 平成14年(財)国際高等研究所原田フェローII研究会「生物教育と市民の理解-遺伝子組換え技術を中心に-」(代表:原田宏筑波大学名誉教授)研究メンバー 平成15年～現在 Awards committee of Summer science forum Theuniversity of Illinois, college of medicine at Rockford, Illinois, USA 大学生・高校生のインターンシッププログラム審査員 平成23年～現在 The Scientific World Journal Editorial Board (Molecular Biology) 学術論文審査員</p> <p>研究業績: 著書14編(単著・単編:8編、共著・分担:6編)、原著(査読あり)16編(筆頭著者7編)、国際学会(英文)7編、総説20編、企業雑誌総説7編、国内学会36編、招待講演17編(詳細は別紙)</p>
加入団体等	日本癌学会、日本生化学会、日本分子生物学会、日本電気泳動学会、日本遺伝子診療学会、日本がん分子疫学研究会、日本ゲノム微生物学会、日本バイオ技術教育学会、日本サイエンスコミュニケーション協会、National Science Teachers Association(米国科学教員協会)、教育目的遺伝子組換え実験支援者グループ、NPO法人くらしとバイオプラザ21、食品安全情報ネットワーク(FSIN)
専門学校教員資格	設置基準第18条4号

学科	バイオテクノロジー科
氏名	松井 奈美子
教育/学術/実務卓越の別	教育卓越型教員
専任/兼任の別(役職)	専任講師
主な担当科目	導入実習、バイオ基礎実習、バイオ化学実験1、バイオ化学実験2、微生物学基礎実験、応用微生物学実験、応用バイオ化学実験2、毒物劇物取扱責任者対策授業、危険物取扱者乙種第4類対策授業
専門分野	化学、生化学、微生物学、酵素化学
学歴	専門学校東京テクニカルカレッジ バイオテクノロジー科
学位	—
免許・資格等	上級バイオ技術者認定 毒物劇物取扱責任者 危険物取扱者乙種第4類 など
実務歴(年数)	—
教員歴(年数)	7年
教育・学術・実務上の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学校東京テクニカルカレッジ・バイオテクノロジー科卒業、同校助手を経てバイオテクノロジー科専任講師となる。 ・平成23年7月 ナツメ社 一発合格!毒物劇物取扱者試験テキスト&問題集 執筆 ・明星大学 教育学部 教育学科(通信教育課程) 中学校・高等学校 理科コース 在学中
加入団体等	・公益社団法人 日本農芸化学会 会員
専門学校教員資格	設置基準第18条1号

学科	バイオテクノロジー科
氏名	佐藤 成美
教育/学術/実務卓越の別	学術卓越型教員
専任/兼任の別(役職)	兼任講師
主な担当科目	食品化学、生化学、酵素学
専門分野	食品学、水産学、生化学
最終学歴・学位等	東京大学大学院農学生命科学研究科・博士(農学)
免許・資格等	教員免許(中学、高等学校理科)
実務歴(年数)	20年
教員歴(年数)	16年
教育・職務上の実績	企業及び大学で研究職、大学や短大、専門学校などで教職
専門学校教員資格	設置基準第18条4号

学科	バイオテクノロジー科
氏名	高木 要
教育/学術/実務卓越の別	実務卓越型教員
専任/兼任の別(役職)	兼任講師
主な担当科目	バイオ分析化学、バイオ機器分析学、バイオ有機化学
専門分野	有機化学、有機分析化学
最終学歴・学位等	京都大学大学院(修士)、薬学博士(徳島大学)、パリ大学博士(理学)
免許・資格等	薬剤師免許
実務歴(年数)	40年
教員歴(年数)	25年
教育・職務上の実績	大学院終了後、慶応大薬化学研究所にて有機薬品合成化学研究(1957~1964)、フランス・キュリー研究所に留学し抗ガン化合物の化学研究(1964~1967)、北里大学助教授・有機機器分析学担当(1967~1977)、製薬企業研究室で天然物化学・薬品合成化学1977~1989)、この間、約2年間 フランス国立衛生医学研究所(INSERM)とフランス国立科学研究センター(CNRS)で薬品合成化学研究。 1990年以後は、機能性物質を取り扱うベンチャー企業で技術アドバイザー、他方、理系大学の講師として基礎化学、有機化学、分析化学の講義をおこなう。研究論文約80報
専門学校教員資格	設置基準第18条4号

学科	バイオテクノロジー科
氏名	松延 康
教育/学術/実務卓越の別	学術卓越型教員
専任/兼任の別(役職)	兼任講師
主な担当科目	生物学、生物学実習、栄養生理学、実験動物学、等
専門分野	理科教育
最終学歴・学位等	北里大学大学院博士課程 農学博士
免許・資格等	中学校、高等学校教員免許(理科)
実務歴(年数)	15年
教員歴(年数)	15年
教育・職務上の実績	青森中央短期大学専任講師、国立精神神経センター研究員を経て、学習塾および各種イベント企画を主業務とする会社設立。公立小中学校、各種専門学校および郵政大学校企画科等において講師歴任。年間約80クラスの理科実験授業を幼稚園、小中学校、教育センター、科学館等で実施。NECガリレオクラブおよびティーチャーズ・サイエンス・ラボ講師。2012年ダンロップスタッドレスタイヤ性能実験PV監修および出演。2013年東急ハンズ全店舗において理科実験販売コーナー企画監修。NHK教育テレビ「となりの子育て」、日本テレビ「世界一受けたい授業」、テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ」等、出演。テレビ朝日「Qさま!!」理科問題監修。
専門学校教員資格	設置基準第18条4号

学科	バイオテクノロジー科
氏名	宮ノ下 いずる
教育/学術/実務卓越の別	学術卓越型教員
専任/兼任の別(役職)	兼任講師
主な担当科目	物細胞工学、植物生理学、動物細胞培養
専門分野	植物病理学、動物細胞工学、AFT色彩検定対策(1, 2, 3級)
最終学歴・学位等	東北大学大学院 農学研究科 応用生命科学 博士前期課程修了 農学修士
免許・資格等	英検2級、秘書検定 準1級、危険物取扱い乙種4類、AFT色彩検定1級、AFT 色彩認定講師、中級バイオ
実務歴(年数)	10年
教員歴(年数)	10年
教育・職務上の実績	<p>バイオテクノロジー分野: 大学院でタバコに感染する植物ウイルスの病気のおこすメカニズムを研究し修士号を取得。修了後、環境ベンチャー会社で屋上緑化にむく耐乾性、耐寒性の優れた植物の品種を研究。その後、製薬会社でインフルエンザ検査キットの開発に携わり動物細胞培養の技術を習得。独立法人 産業技術総合研究所や花卉研究所で研究員として実験技術や知識を学びながら、2003年から東京テクニカルカレッジをはじめ複数の専門学校で、生物学、基礎遺伝学、植物細胞工学、動物細胞工学などの分野を教えている。</p> <p>色彩分野: 2005年にAFT色彩検定1級取得。AFT認定講師として専門学校や(株)日本ライセンスバンクリカレントでAFT色彩検定1、2、3級の試験対策を行う。 常陽アーク(ARC)にエッセイ掲載 『白雪姫はなぜ黒髪なのか ～色彩効果を読み解く～』p38-39(2006年12月) 『モネの『睡蓮』と色彩』p30-31 (2007年2月) 『色』で買わせるテクニックp34-35(2007年12月) 学位論文『キュウリモザイクウイルス黄斑系統CMV-Yの外被タンパク質と相互作用する宿主タンパク質の解析』(平成12年度)水戸部いずる 東北大学大学院修士論文 共著論文 Fuji S, I. Mitobe, H. Nakamae, and K.T.Natsuaki(1999) Nucleotide sequence of coat protein gene of yam mild mosaic virus, isolated in Papua New Guinea. Archives of Virology 144:1415-1419 「蛋白質固定化磁気ビーズアレイとその利用技術の開発」 著者: KIM Wookdong (産業技術総合研)、大橋澄子 (産業技術総合研)、宮ノ下いずる (産業技術総合研) 資料名: 日本農芸化学会大会講演要旨集 巻: 2005 ページ: 322</p> <p>学会発表 ①水戸部いずる・夏秋啓子『パプアニューギニア産ヤムイモに感染するウイルス病』日本植物病理学会 新潟大学 平成11年4月 ②水戸部いずる・高橋英樹・江原淑夫『キュウリモザイクウイルス黄斑系統の外被タンパク質と相互作用する宿主タンパク質の解析』日本植物病理学会 東北大学 平成13年4月</p>
専門学校教員資格	設置基準第18条4号

学科	バイオテクノロジー科
氏名	吉本 桂子
教育/学術/実務卓越の別	学術卓越型教員
専任/兼任の別(役職)	兼任講師
主な担当科目	細胞工学技術、分子細胞生物学
専門分野	細胞生物学 分子生物学 免疫学
最終学歴・学位等	名古屋市立大学大学院薬学研究科修了 薬学博士
免許・資格等	薬剤師免許所有
実務歴(年数)	27年
教員歴(年数)	17年
教育・職務上の実績	大学院修了後、大手製薬会社研究所勤務、米国留学を経て、埼玉医科大学および慶應義塾大学医学部で自己免疫疾患の病態形成機序に関する研究に従事。専門学校などでも講師を歴任。
専門学校教員資格	設置基準第18条4号